

平成26（2014）年川崎市10大ニュースについて

1 目的

一年を振り返り、市民の視点から市政や市全般にわたる動きがどのように捉えられているかを把握し、今後の市政運営の参考とするとともに、市の取組や魅力ある資源を発信することで市のイメージアップを図ることを目的としています。

2 10大ニュースの決定方法

平成26年に市内で発生した事柄について、あらかじめ選定した候補項目への投票募集を行い（自由記載も可）、得票数の多い順に1番から10番までを「平成26（2014）年川崎市10大ニュース」として決定しました。

3 投票募集実施期間

11月28日（金）～12月14日（日）（17日間）

4 投票状況

		※昨年
(1) 区役所、市民館、図書館等における投票	931人	(890)
(2) ホームページでのインターネット投票	1,159人	(1,244)
合 計	2,090人	(2,134)

5 プレゼント

プレゼントの当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。（年明け以降順次発送予定）

6 その他

当該結果は、川崎市インターネットホームページに掲載

<添付資料>

- 資料 1 平成26（2014）年川崎市10大ニュースの概要
- 資料 2 過去5年間の川崎市10大ニュース上位3位について

【問い合わせ先】 総合企画局都市経営部企画調整課
電話 044-200-2025

平成26(2014)年川崎市10大ニュース投票結果

1位	川崎マリエン 日本夜景遺産に認定	797 票
2位	南武線の輸送力を強化した新型車両の運行開始	589 票
3位	4月に『ららテラス』11月に『グランツリー』など武蔵小杉駅周辺に大型商業施設が次々オープン	578 票
4位	武蔵小杉駅に新たな駅前広場が誕生	508 票
5位	サッカーワールドカップ 川崎市にゆかりのある大久保嘉人選手、齋藤学選手が選出	457 票
6位	最先端の技術などを楽しみながら学べる東芝未来科学館が川崎駅西口にオープン	450 票
7位	市制90周年を迎えた川崎市 4万8千人から145万人へ	449 票
8位	国内最大級のハロウィンパレード『カワサキハロウィン』に11万人の観客	395 票
9位	『藤子・F・不二雄ミュージアム』3周年 入館者数が150万人を突破	356 票
10位	多くの人々でにぎわい、川崎大師 10年に一度の大開帳奉修	353 票

(11位から20位までは、次のとおり)

11位	中学校完全給食の実施方針を発表、幸区・中原区・麻生区に給食センター整備を決定	343 票
12位	市内初の公立中高一貫教育校となる市立川崎高等学校附属中学校が開校	338 票
13位	川崎市動物愛護センター 犬の殺処分ゼロ達成	265 票
14位	川崎市制90周年記念『第73回多摩川花火大会』に29万人訪れる	261 票
15位	市民が市長と直接対話、区民車座集会がスタート	254 票
16位	川崎に60m級の巨人 ミューザ川崎で『進撃の巨人』プロジェクションマッピング	248 票
17位	『生田の天然水 恵水(めぐみ)』モンドセレクションで金賞受賞	243 票
18位	向ヶ丘遊園駅連絡通路が開通へ 利便性の向上などが期待	229 票
19位	童謡『ぞうさん』などの詩人まど・みちおさん死去	220 票
20位	夢見ヶ崎動物公園創立40周年 レッサーパンダの愛称は『ギンガ』に決定	214 票

平成26（2014）年川崎市10大ニュースの概要

1位 川崎マリエン 日本夜景遺産に認定

川崎区東扇島にある川崎マリエン（川崎市港湾振興会館）タワー棟の10階、高さ51mになる展望室から見る夜景が、川崎市内で初めて「日本夜景遺産」に登録されました。展望室は360度のガラス張りで、工場夜景や羽田空港を発着する航空機、スカイツリー、横浜ベイブリッジなど、川崎ならではの夜景が楽しめます。

2位 南武線の輸送力を強化した新型車両の運行開始

10月4日、JR南武線の新型車両「E233系」の運行が開始となりました。当日は、運行開始に合わせて、記念セレモニーを行うとともに、記念入場券や限定発表の商品なども販売が行われました。従来の車両より定員が1割程度増えるため、混雑緩和が期待されます。

3位 4月に『ららテラス』11月に『グランツリー』など武蔵小杉駅周辺に大型商業施設が次々オープン

4月に武蔵小杉駅前に大型商業施設「ららテラス 武蔵小杉」、11月には「グランツリー 武蔵小杉」がオープンしました。ファッション、日用品、雑貨、美容などの店舗が出店し、ライフスタイルに見合う商品が提供されるなど、数多くの方々の利用が期待されます。

4位 武蔵小杉駅に新たな駅前広場が誕生

3月30日に、中原区の東急線武蔵小杉駅東側に「武蔵小杉駅東口駅前広場」が供用開始されました。駅南側の交通結節点として、バス乗り場、ユニバーサルデザイン対応のタクシー乗り場、地下駐輪場（約2,200台収容）のほか、太陽光パネル、マンホールトイレ、防災備蓄倉庫が市街地再開発事業により整備されました。前日の29日には、広場の完成を記念した式典や「ふるさと交流フェスティバル」を開催しました。また、7月には、地域の意向を反映したモニュメントが寄付されました。

5位 サッカーワールドカップ 川崎市にゆかりのある大久保嘉人選手、齋藤学選手が選出

「2014 FIFAワールドカップブラジル大会」の日本代表に、サッカーJ1リーグで昨季得点王に輝いた川崎フロンターレの大久保嘉人選手と川崎市出身の横浜F・マリノスの齋藤学選手が選出されました。大久保選手は2大会連続のワールドカップ代表選出となりました。川崎市では、等々力陸上競技場で市長から両選手に花束の贈呈を行うとともに、本庁舎に大久保選手を応援する懸垂幕や等身大パネルを設置して応援しました。

6位 最先端の技術などを楽しみながら学べる東芝未来科学館が川崎駅西口にオープン

JR川崎駅西口にある株式会社東芝のオフィスビル「スマートコミュニティセンター」内に「東芝未来科学館」がオープンしました。東芝の歴史を振り返るとともに、最先端の技術や製品などを分かりやすく展開し、年間30万人の来場者を目指します。マシンに乗りこんでハンドルを操作し、「ナノ（100万分の1ミリ）」の世界を自由に移動できる「ナノライダー」など、楽しみながら学べる体験装置を入場無料で多数そろえた施設となっています。

7位 市制90周年を迎えた川崎市 4万8千人から145万人へ

大正13（1924）年に川崎町・御幸村・大師町が合併して誕生した川崎市は、今年7月1日市制90周年を迎えました。同日は約1,200人が参加し、ミューザ川崎シンフォニーホールで記念式典を行いました。この90年で、川崎市は産業都市として急速に成長するとともに、著しく人口が増加し、利便性の高い生活都市として発展してきました。

8位 国内最大級のハロウィンパレード『カワサキハロウィン』に11万人の観客

18回目となる「カワサキハロウィン2014」が開催され、10月26日には川崎競輪場前から国道15号線を横断して川崎駅付近へ向かうコースを新たに採用し、約2,500人の参加者が1.5キロの道のりをパレード行進し、沿道に集まった約11万人の観客を楽しませました。

9位 『藤子・F・不二雄ミュージアム』3周年 入館者数が150万人を突破

川崎市多摩区にある「川崎市藤子・F・不二雄ミュージアム」の累計入館者数が、オープンからわずか3年で150万人を突破しました。同ミュージアムは、「ドラえもん」などの名作漫画を生み出した藤子・F・不二雄さんの世界を楽しめる施設で、1日4回、各回500人の予約制となっています。

10位 多くの人々でにぎわい、川崎大師 10年に一度の大開帳奉修

厄除けで有名な川崎大師で10年に一度の「大開帳奉修」が行われました。5月1日から1か月間、人気の赤札による御利益を求め、多くの人々でにぎわいました。

過去5年間の川崎市10大ニュース上位3位について

- ◇ 平成25（2013）年 総投票者数 2, 134人
- 1 武蔵小杉駅直結の再開発ビルに『市立中原図書館』や商業施設がオープン
 - 2 『福田新川崎市長』が誕生
 - 3 震災の影響でつり天井が脱落した『ミューザ川崎シンフォニーホール』が待望のリニューアルオープン
- ◇ 平成24（2012）年 総投票者数 2, 614人
- 1 ドラえもん誕生前100年、藤子・F・不二雄ミュージアム開館1周年で特別住民票発行、1週間で9万ダウンロード
 - 2 最新鋭のプラネタリウムを導入した『かわさき宙（そら）と緑の科学館』がオープン
 - 3 夢見ヶ崎動物公園のレッサーパンダに待望の赤ちゃん誕生
- ◇ 平成23（2011）年 総投票者数 1, 878人
- 1 『ドラえもん』などの原画を展示する『藤子・F・不二雄ミュージアム』が開館
 - 2 3月11日、東日本大震災発生、交通機関の乱れや計画停電など市内でも大きな影響
 - 3 東日本大震災により『ミューザ川崎シンフォニーホール』に被害
- ◇ 平成22（2010）年 総投票者数 2, 084人
- 1 JR横須賀線武蔵小杉駅が開業
 - 2 東扇島東公園「かわさきの浜」で潮干狩りが解禁
 - 3 バーベキュー利用有料化の社会実験を実施
- ◇ 平成21（2009）年 総投票者数 1, 518人
- 1 川崎フロンターレ ナビスコカップ準優勝
～J1リーグでも優勝争い
 - 2 新型インフルエンザ 市内小中学校で休校相次ぐ
 - 3 川崎市長選挙 阿部孝夫市長が3選